

2025年度東地区部会研修会（利用者サービス）コース案内

1.概要

研修コース名	スキルアップ研修（利用者サービス）
日程（回数）	2025年6月、7月、9月、10月、11月（計5回）※別途報告大会あり（項3参照のこと）
曜日・時間	毎月第3金曜 15:00-17:00 第1回：2025年6月20日（金）15:00-17:00 第2回：2025年7月18日（金）15:00-17:00 第3回：2025年9月19日（金）15:00-17:00 第4回：2025年10月17日（金）15:00-17:00 第5回：2025年11月21日（金）15:00-17:00
実施形態	オンライン（ZOOMミーティング） 講義／実習／グループワーク（項2参照のこと） 研修時以外の学習：事前課題（1～2時間程度）
募集定員	25名（先着順・最少催行人数：5名）
担当者	第1回～第3回：豊田 哲也（JMAM、大学図書館支援機構） 第4回～第5回：高野 真理子（大学図書館支援機構）

2.詳細

内容	<p>第1回：「大学図書館の利用者サービス担当者に求められる役割とは」 構成：講義30分、個人ワーク15分、グループワーク45分、全体共有・まとめ30分 ●利用者サービスの目的/自大学図書館における利用者サービスの位置付けを講師、参加者同士の対話を通じて、解像度を上げていきます。</p> <p>第2回：「学生協働担当者に役立つシェアド・リーダーシップの基礎を学ぼう」 構成：講義50分、個人ワーク15分、グループワーク45分、全体共有・まとめ10分 ●全員活躍チームをつくる「シェアド・リーダーシップ」の概要と実践方法の基礎を紹介します。</p> <p>第3回：「利用者教育担当者に役立つインストラクショナルデザインの基礎を学ぼう」 構成：講義40分、個人ワーク20分、グループワーク40分、全体共有・まとめ10分 ●図書館ガイダンスの効果を高める理論として「学習研究」、「インストラクショナルデザイン」の概要と実践方法の基礎を紹介します。</p> <p>第4回：「レファレンス①利用者を知ろう」 構成：講義50分、グループワーク70分 ●利用者のニーズに即したレファレンスサービスを提供するため、最近の利用者研究の一端を紹介します。 ●ロールプレイング実習を通して、グループごとによりレファレンスインタビューのポイント探しを行います。</p> <p>第5回：「レファレンス②資料とツールを知ろう」 構成：講義20分、発表・ディスカッション100分 ●レファレンスツールを使いこなす基礎体力づくり：それぞれ得意なジャンルのツールを取り上げて事前にそのツールの裏技・落とし穴を調べます。当日はそれを発表し、参加者間で知識を共有しましょう。</p>
到達目標	<p>第1回：「大学図書館の利用者サービス担当者に求められる役割」を自分の言葉で語れるようになる。</p> <p>第2回：大学図書館と学生協働スタッフの目指す方向性を一致させ、「全員活躍のチームを目指す」考え方と実践方法の基礎を理解する。</p> <p>第3回：図書館ガイダンスの効果を高める理論として「学習研究」、「インストラクショナルデザイン」の概要と実践方法の基礎を理解する。 → 第2回、第3回では各学習テーマの基礎を知識として理解することを目標としています。職場で実践するためのポイントを各回の「まとめ」で紹介しますので、興味がある方はぜひ事後課題にも取り組んでください。（任意）</p> <p>第4回：利用者を知ることからレファレンスサービスのスキルアップを図る。</p> <p>第5回：利用者が求める情報や資料を探し出す技術を習得する。 → 第4回～第5回は、レファレンスライブラリアンとして求められるスキルを磨く方法を習得することを目標とします。レファレンス業務の役割を「利用者と情報・資料を結びつける」とこと定義し、利用者と資料両方の側面に向き合い、自己研鑽方法を身につけましょう。</p>

3.研修報告大会

目的	研修内容に関する情報共有
内容	研修コース講師による研修内容の報告 受講者（代表者複数名）から自身の学びについての所感報告
報告形式	オンライン、オンデマンド動画配信
日程	本番：2025年12月12日（金）【受講者全員参加】 リハーサル（接続確認等）：2025年12月5日（金）【講師・所感報告者参加】

4.受講条件

資格・経験	利用者サービスの実務経験者、もしくは利用者サービスの向上に関心のある方。資格は問いません。
環境	インターネットに接続できる環境とブラウザ（Zoomを使用します）
その他	全5回出席を基本としますが、やむを得ない事情で欠席した人には、録画を提供します。